

科目名	保育実習指導 3 (保育士必修)		
授業形態	実習	学年	2
開講時期	2023 年度 後期	単位数	1
担当教員	市川 和彦、佐々木 誠二		
内容および計画	保育士の資格を取得するための必修科目です。学内において児童福祉施設に必要な専門的知識・技術、施設の社会的役割、個別支援計画作成を習得します。さらに児童福祉施設（乳児院、児童養護施設、児童自立支援施設、ろうあ児施設、肢体不自由児施設、知的障害児施設、重症心身障害児施設など）において生活をともにしながら、子どもへの理解を深めるとともに、家族、地域との連携、施設の機能と保育士の職務、権利擁護を学びます。		
1	オリエンテーション		
2	事例検討・課題研究の進め方 事例検討①		
3	事例検討②		
4	ロールプレイ		
5	主な対人援助技術・発達支援①		
6	主な対人援助技術・発達支援②		
7	アンケート記入 シェアリング①		
8	シェアリング②		
9	事例検討・課題研究作成 個別面談		
10	事例検討・課題研究①		
11	事例検討・課題研究②		
12	事例検討・課題研究③		
13	事例検討・課題研究④		
14	問題解決型ケーススタディ①		
15	問題解決型ケーススタディ②		
教科書			
	タイトル	著者名	出版社
			ISBN
			発行年
保育実習 I a にて使用した下記のテキストを継続使用するので、毎回持参すること。			
1) 福島県保育者養成校連絡会 『保育実習の手引き』			
2) 福島県保育者養成校連絡会編 『福島県保育実習施設』			
参考書			
成績評価			
	評価方法	割合(%)	
	実習先評価	60	
	実習態度(教員評価)	20	
	提出物	20	

評価の一部として授業への自立的参加、自主的発言を求めます（教員からの発言への指名は基本的にしません）	
<b>学習到達目標</b>	児童福祉施設の保育士、児童指導員、家庭支援専門員、コメディカルスタッフ等の他専門職との連携・協働による保育・支援が実施できる。事例について適切な考察ができる。多様な問題に対しての解決策について発言することができる。
<b>先修条件</b>	
<b>実務経験</b>	実務経験あり：障がい児入所施設に4年、障がい者支援に8年、児童養護施設に3年身を置きケアワークに従事してきた。
<b>その他</b>	人数によりコマの配置を変更することがあります。 保育実習Ⅲも併せて必ず登録してください。